

第16回デメンシアカンファレンスを開催

2016年7月29日

7月29日(火)に福井大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)「第16回デメンシアカンファレンス」を開催しました。

今回のカンファレンスには、金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、国立病院機構医王病院、石川県立高松病院、国立病院機構北陸病院、医療法人社団和敬会谷野呉山病院、医療法人社団弘仁会魚津緑ヶ丘病院、福井県立すこやかシルバー病院の10施設が参加しました。

「薬剤性の疑われた被害妄想と意識変容の一例」のタイトルで、福井大学 精神医学からの症例報告が進められ、第16回目のデメンシアカンファレンスは、福井大学と各施設間で活発に質疑応答や意見交換が行われました。



福井大学からの症例報告の様子



各 会 場 の 様 子

第 16 回デメンシアカンファレンス 報告要旨

『薬剤性の疑われた被害妄想と意識変容の 1 例』

発表者：石川俊介（福井大学医学部附属病院 神経科精神科）

司 会：東間正人（福井大学医学部附属病院 神経科精神科）

【要 旨】

症例は 91 歳、女性。既往歴として慢性心不全、慢性気管支炎、高血圧症、うつ病があり、14 種類の薬剤を内服していた。「病院の職員に魔術をかけられている」という 2 週間持続している幻視や被害妄想を主訴に紹介初診。エピソードについて追想可能で意識障害は疑わなかった。MMSE 21 点。幻覚妄想の原因疾患として、認知症の BPSD や薬剤性が疑われた。頭部 MRI で海馬の軽度萎縮と脳血流 SPECT で後頭葉内側の血流低下を認めたが MIBG 心筋シンチグラフィや DaT SPECT での集積低下はなかった。脳波では、徐波の混入、後頭優位性の不明瞭化を認めた。抗コリン活性の強い薬剤を中心に薬剤整理を行ったところ、幻覚妄想は消失し、MMSE 25 点に回復し、脳波で徐波の消失と後頭優位性の回復を認め、診断は医薬品誘発性せん妄とした。当初、臨床症状では意識障害が明確ではなく、せん妄を疑わなかったが、脳波でのみ後頭優位性の欠如と徐波の混入という軽微な意識変容を疑う所見が得られた。せん妄の診断が困難な症例においても、軽微な意識変容を同定するのに脳波が有用であると考ええる。

【質問・意見】

質問：構成障害には時間的な変動を認めていたのか？

回答：幻視等の時間変動は認めていたが、構成障害の時間変動は確認していない。

質問：症状改善後の SPECT 検査は行っていないのか？

回答：興味のあるところではあるが、検査は行っていない。

質問：幻覚に関してスグレサントの影響も考えるが、スグレサントが追加になってからどのくらい経ってから幻覚が出現しているのか？

回答：2 ヶ月です。

質問：内科薬に関して直近に変更となった薬剤は何か？

回答：当初薬剤性は積極的に疑っておらず情報提供依頼も行っていないため不明。

質問：脳波で基礎波が 8.5Hz と遅いがすでに MCI ということは考えられないのか？

回答：MCI にせん妄が重畳した可能性はある。

コメント：Amnesic MCI には脳波の異常（徐波の混入など）が目立った。



文部科学省・課題解決型高度医療人材養成プログラム

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)

第16回 デメンシアカンファレンス

2016年7月29日(金) 18:30~20:00

「薬剤性の疑われた被害妄想と 意識変容の一例」



担当：福井大学 精神医学

対象：参加施設及びその他の施設の
医療関係者
(医療系大学の学生を含む)

会場：認プロ参加施設テレビ会議システム設置場所

- * 金沢大学(医薬保健学域医学類教育棟地下大多目的室)
- * 富山大学(附属病院2階カンファレンスルーム2)
- * 福井大学(院生棟4階セミナー室)
- * 金沢医科大学(基礎研究棟3階大学院セミナー室)
- * 国立病院機構医王病院(臨床研究棟会議室)
- * 石川県立高松病院(医局会議室)
- * 国立病院機構北陸病院(特殊診療棟2階小会議室)
- * 谷野呉山病院(共通棟1階ミーティング室)
- * 魚津緑ヶ丘病院(5階会議室)
- * 福井県立すこやかシルバー病院(管理棟2階応接室)

申し込み不要

出席者は受付で出席簿に記入し、教育コース履修者は
本人保管用の受講票を受理の上、検印を受けて下さい。

お問い合わせ先 北陸認プロ運営事務局 〒920-8640 金沢市宝町13番1号
TEL 076-265-2149 FAX 076-234-4208
E-mail ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp
URL <http://ninpro.jp/>